

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、一部邦銀から試し取りと見られるビットが入ったことで、無担保コールO/N加重平均レートは0.07%前後での推移となるなど、先々週に比べて若干上昇した。ただ、積み最終週ではあったものの、それ以外の市場参加者に目立った行動の変化は無く、取り急ぐ様な動きは見られなかった。ターム物は大手行から1M物の調達が見られた。固定金利方式の全店共通担保資金供給オペは、12日に3M物・8,000億円がオファーされ、応札1,430億円と札割れの結果になった。12,13日には金融政策決定会合が開催され、政策の現状維持が決定された。

今週は新しい積み期間に入る。16日はTB3M発行超過、2Y発行超過で資金不足日となるものの、20日は国債の大量償還・利払いで大幅な資金余剰が予想される。当座預金残高は140兆円台半ばから後半に到達しよう。金融政策の方向性に関わるイベントとしては、FOMCが17,18日に予定されている。

2. オープン市場

先週の短国市場は、週を通して堅調な相場展開が続いた。週前半は非常に売り物が少なく、3M物で0.03~0.032%の出合いが見られた。週後半に入り、11、12日に短国の入札も実施されたものの、海外筋と見られる買いが強まって需給は緩まず、週末の気配は3Mと6M共に0.03%近辺まで再びタイト化した。短国買入オペは9日に1兆5,000億円で通知され、按分利回較差0.00%、平均利回較差+0.001%、按分比率71.3%という結果であった。引値を勘案すると、実際の落札利回りは3Mゾーンで0.032~0.04%、6Mゾーンで0.035~0.037%程度と推測される。通知金額は前回から減額されたものの、予想の範囲内であり、波乱は無かった。短国入札は、11日に2M物、12日に3M物の入札が実施された。2M物は、按分レート0.0421%、平均レート0.0365%、按分比率8.4580%という結果になり、WIの気配がタイトだった分、落札結果は逆に流れたものとみられる。3M物は、按分レート0.0396%、平均レート0.0372%、按分比率39.5526%という結果。無難な入札となったものの、セカンダリーでは買いが強まる展開となった。

先週のCP市場は、週間発行総額は6,000億円程度となった。発行レートは、a-1格銘柄の6月期物で0.10%近辺、期越え物で0.095%近辺となっている。先々週までのCP等買入オペのレートが上昇気味だったため、発行レートも若干上昇基調で推移した。また、現先レートが下げ渋っていることから、特に6月期物で応札姿勢が消極的となっていた。

今週の短国市場は、16日に短国買入オペの通知が予想されており、週前半は引き続き堅調地合いが見込まれる。18日にはTB1Y物、19日にはTB3M物の入札もあり、結果が目される。CP市場は16日にCP等買入オペが予定されている。発行レートが上昇基調であることやファンディングニーズを勘案すると、落札レートは小幅上昇となる可能性も考えられる中、結果が目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で3,100億円程度の発行超見通し。財政資金は、20日の国債大量償還・利払いを中心に3兆1,600億円程度の払い超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で2兆8,500億円程度の資金余剰を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。＜16日＞TB3M; 償還46,600億円・発行57,000億円／2Y; 償還14,700億円・発行27,000億円／個人向け3Y; 償還600億円・個人向け3Y・5Y・10Y発行1,600億円＜18日＞交付税特会借入; 期日10,500億円・新規10,500億円＜20日＞TB1Y; 償還12,700億円・発行25,000億円／5Y; 償還47,000億円・発行27,000億円／10Y; 償還79,000億円・発行24,000億円／20Y; 発行12,000億円／30Y; 発行7,000億円／エネルギー対策借入; 期日4,000億円・新規4,000億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
6/16 (月)	900	△ 24,400	△ 23,500	全店共通(固) CP買入	△ 1,700 △ 400	1,400	△ 700	△ 24,200
6/17 (火)	0	1,000	1,000	社債買入		900	900	1,900
6/18 (水)	△ 1,000	1,000	0				0	0
6/19 (木)	△ 1,000	2,000	1,000	CP買入		4,500	4,500	5,500
6/20 (金)	△ 2,000	52,000	50,000	貸出増加支援	△ 1,900		△ 1,900	48,100
週 間 合 計	△ 3,100	31,600	28,500		△ 4,000	6,800	2,800	31,300

(注) 上表の6/16は日銀予想、6/17以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
6/16 (月)	金融経済月報(日銀 14:00)		5月の米鉱工業生産・設備稼働率 5月のユーロ圏消費者物価指数改定値
6/17 (火)		20Y 12,000億円 6/20発行	米FOMC (1日目) ECB定例理事会(1日目, 金融政策発表なし) 5月の米消費者物価指数 5月の米住宅着工件数 5月の英消費者物価指数
6/18 (水)	金融政策決定会合議事要旨 (5月20, 21日分 8:50) 5月の貿易統計 (財務省 8:50)	TB1Y 25,000億円 6/20発行 交付税借入 10,500億円 6/26借入	米FOMC (2日目) ECB定例理事会(2日目, 金融政策発表なし)
6/19 (木)	4月の景気動向指数改訂状況 (内閣府 14:00) 秋田県金融経済懇談会にて森本審議委員講演	TB3M 57,000億円 6/23発行	
6/20 (金)	全国信用金庫大会にて黒田総裁講演		

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認いただきますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目論見書をよくお読みください。